



リュブリャナ宣言
第 19 回世界歴史都市会議にて採択
2024 年 11 月 14 日 リュブリャナ市

第 19 回世界歴史都市会議出席のためにリュブリャナ市に集った私たち世界歴史都市連盟加盟都市の市長は、次世代のために都市の文化遺産を保存し、活用する責務を有することを確認します。建築的・文化的・社会的意義に富む歴史都市は、現存する人間の創造性や回復力の証であり、アイデンティティを育み、地域社会の結束を高め、持続可能な発展を遂げるために極めて重要です。

急速な都市化、気候変動、技術の進歩、社会の変容がもたらす課題を認識し、歴史都市が過去に敬意を払いながらも未来を受け入れる、活気あふれ、包括的で持続可能な場所であり続けるための取組を行います。

これらの目的を達成するため、私たちは以下の原則について、共に取り組むことをここに宣言します。

1. 文化遺産の保護

歴史都市の有形・無形文化遺産の保護と復元に継続して取り組みます。歴史的建造物、記念碑、公共空間を細心の注意を払って保全し、また適宜再活用することにより、歴史都市の遺産を次世代へ残していくことを確約します。

2. 持続可能な都市開発

都市計画・開発に持続可能な手法を取り入れます。歩きやすさ（ウォーカビリティ）、グリーンインフラ、持続可能なモビリティ、二酸化炭素排出量の削減、エネルギー効率の優先などを推進することにより、歴史的特徴を維持しながら環境面でもしなやかな都市づくりを目指します。

3. 文化交流と協力

歴史都市の保存と管理に関する知識、優れた施策、専門知識を共有するなど、加盟都市間の対話と協力を継続して推進します。また、文化交流を通して国際理解と連帯を深め、世界平和と安定に貢献します。

4. 教育と意識

若い世代に対し、文化遺産の重要性に関する意識向上に取り組みます。市民への啓発活動を推進したり、文化イベントを開催したりすることで、自らのまちを守っていくことへのプライドと責任感を抱かせることを目指します。

5. 包括的で利用しやすい都市

年齢、能力、社会経済的地位に関係なく、全ての人が便利な都市づくりに取り組みます。歴史的環境を包括的で居心地がよいものにするにより、都市における公平性と社会正義を育むという私たちの取組を再確認します。

本宣言に署名することで、持続可能な都市開発を推進しながら歴史都市の文化遺産を保護するという取組における支援・協力を誓うとともに、世界歴史都市連盟の価値観と原則に共に献身的に取り組んでいくことを再確認します。歴史都市が文化遺産、持続可能な開発、そして国際協力の指針であり続けられるために、第 19 回世界歴史都市会議を私たちが共に行ってきた取組の転換点としましょう。

2024 年 11 月 14 日

スロベニアの首都 リュブリャナ市にて